opusdei.org

アルバロ・デル・ポ ルティーリョ司教。 隣人のために働く。

アルバロ・デル・ポルティー リョとラテンアメリカにおけ る社会事業推進のドキュメン タリー。

2017/08/11

「兄弟であるとは、兄弟として生き、最も弱い人たちの必要に心を配ることである」。アパレシーダ(ブラジル)で行われたラテンアメリカ司教評議会の第五会議の文書におけ

るこれらの言葉からこのドキュメンタリーは始まります。ホアン・マルティン・エズラティ監督(アルゼンチン)による27分のビデオは、自分の夢を果たすために戦い、それを実現した10人の物語を伝えます。

「隣人のために働く」というこのドキュメンタリーはひとつの物語です。登場する主人公たちは、2014年9月27日にマドリッドで列福されたアルバロ・デル・ポルティーリョ司教育の分野での活動のおかげで夢を現できたという共通点を持ってンタリーは、平和と正義が実現するより良い世界のために働く人々の思いと変遷を紹介します。

教皇フランシスコは、教皇着座後す ぐに、貧困と困窮に苦しむ人を守る ようにと、個人主義に対して立ち向 かいました。「我々は、この呼びか けを受け入れるように招待されています。すなわち、自分の快適さを置いて、福音の光を必要としているすべての境界線まであえて到達することです」。

福者アルバロも、隣人の世話をする ために一度となく励まされました。 「兄弟愛を生き、大きな慈善を持 ち、他の人のことを考える。つまり は皆さんがやっていることを行うこ とです。神の光がより多くの人に達 するように、使徒職の取り組みを促 進することです。」さらに、他の人 との力を合わせるよう招きました。 「私は、あなたの活動にプラス記号 をつけて欲しいのです。反発、引く こと、分割に陥らないでください。 プラス記号になってほしいのです。 人を探しなさい。あなたと隣人との 間にプラス記号、すなわち加えるこ と、破壊しないことを探し求めま しょう。プラス記号はとてもキリス ト教的です。1

聖ホセマリアの最初の後継者として、オプス・デイを指導した年月の間に、アルバロ・デル・ポルティーリョは、ラテンアメリカと世界で数多くの社会事業と教育施設を促進しました。これは「隣人のために働く」に提示される10話をつなぐ糸になります。ドキュメンタリーはひます。ドキュメンタリーはDigito Identidadにより制作され、アルゼンチン、グアテマラ、ペルー、

エルサルバドル、ブラジル、ウルグ アイ、コロンビア、エクアドル、チ リで撮影されました。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/hito-no-tame-hataraku/ (2025/11/30)